



名古屋大学大学院  
環境学研究科准教授  
かとう ひろ かず  
**加藤 博和**さん

高山市公共交通活性化協議会副会長。現在、国土交通省「地域公共交通活性化・再生の推進方策に関する検討会」の委員をはじめ、公共交通に関する各種検討会委員、地域公共交通プロデューサーとして各地で先進的な取組みを手掛けています。

## 一人ひとりの意識と行動が公共交通を変えていく—— 市民が守り育てる公共交通

最近バスや列車に乗ったことがありますか？高山では大半の方が「いいえ」とお答えになるでしょう。クルマが使えれば、バスや列車より便利に移動でき、暮らしやすくなるのですから、当然と言えましょう。

しかし、子どもさんや高齢の方を中心に、クルマを自由に使えない方がおられます。公共交通利用が減少した結果、路線の廃止や減便が進み、クルマを使えるか否かで移動のしやすさに大きな格

差ができてしまいました。また、クルマは化石燃料消費や二酸化炭素排出が多いことも問題です。クルマ社会が日本より早く進展した欧州では、最近、行きすぎたクルマ依存を反省し、公共交通を充実させることが自治体の重要な施策となっています。

高山市がこのたび、バスサービスを大幅に見直したのも時代の必然です。ただし、バス運行にはみなさんが納めた税金の投入が欠かせません。必要な経費ですが、不

便で利用が少ないとムダになつてしまいます。そこでみなさんに次のことをお願いします。まず、たまにだけつこうです。そして、利用してください。そして、公共交通への関心を持つていただきたいのです。そうした一人ひとりの意識と行動が集まって、公共交通をみんなで支え育て、そして高山を人にも地球にもやさしい魅力的な地域へと変えていく力になるのです。

「バスは高い！」と思っ  
ていませんか？確かにバスは片道20分乗るだけで500円くらいの運賃がかかります。往復で1千円、平日毎日使えば月に2万円くらいになります。これがマイカーなら燃料費は月に5千〜6千円くらいでしょう。断然マイカーのほうが安く感じますが、自動車は車両本体に200万円ほど、その他に税金、保険、整備点検費用などの維持費をあわせると毎月5〜6万円掛かっている計算になります。

お得な定期券を使えば、1万円ちょっとで利用できますし、バスで行きやすい場所であれば、バスのほうが断然お得なのです。

## バス車両が新しくなりました

### ●のらマイカー(地域バス)

高山地域の「のらマイカー」はこれまで通りの車両ですが、支所地域のバスもすべて「のらマイカー」として統一します。

なお、使用する車両の形や大きさは地域によって異なります。



### ●まちなみバス(中心市街地バス)

高山の町並みに馴染むよう茶系をベースとしました。側面の模様は乗鞍岳とまちなみバスの頭文字のMをイメージしたものです。Mの色は市の花「こばのみつばつつじ」の紅紫を使用しました。



## バス停のデザインも新調

- まちなみバス
- のらマイカー



現在の「のらマイカー」の停留所の半円形のかたちとイメージカラーである水色を引き継ぎました。遠くからよく目立ちながらも、まちなみに配慮したデザインとしました。

「バスは高い！」  
と思っ  
ていませんか？

## 意外とお得な公共交通